

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2024年10月号

森のおくりもの10

NO.397 The Gift from Woods

みはらしの道・であいの道の合流地点付近



澄んだ青空がすがすがしい季節になりました。森の木々も少しずつ色づき始め、暑さでしおれ気味だった植物たちも生き生きしているようです。これからの季節、リンドウ等の草花はもちろん、森が錦をまとっていく移り変わる姿もお楽しみいただけます。心地良い秋風、カツラの懐かしさを感じる甘い香り、身体と心をほぐしに森林浴はいかがでしょう。【館長：佐藤由美】

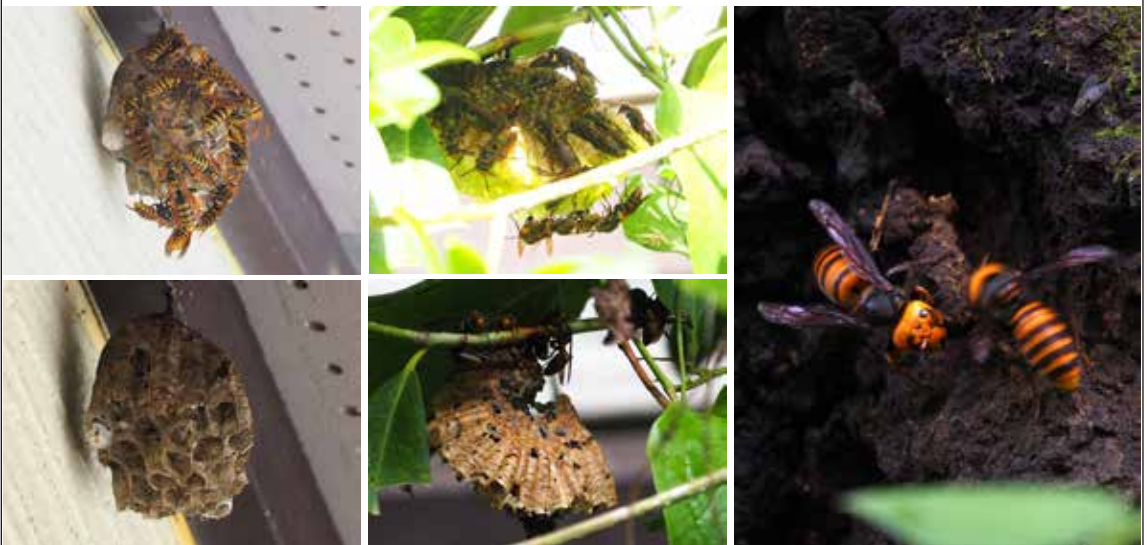
『秋風索莫（しゅうふうさくばく）』

今年の夏も猛暑で、全国的には最高気温が体温越えの数値の所もあり、観測史上一番の酷い暑さでしたが、仙台では昨年次ぐ2番目ということです。9月になっても残暑が厳しく、この暑さはいつまで続くのかと思いましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」のとおり、急に気温が低くなりました。あんなにうんざりしていたのに、突然終わりを迎えると何だか名残惜しく感じるから不思議です。

「秋風索莫」という言葉がありました。「夏の盛りが過ぎて秋の風が吹くころになり、もの寂しいこと。盛んであったものごとの勢いが衰えて寂しい様子」をいいます。秋になると寂しくなるのはこういうことなのですね。

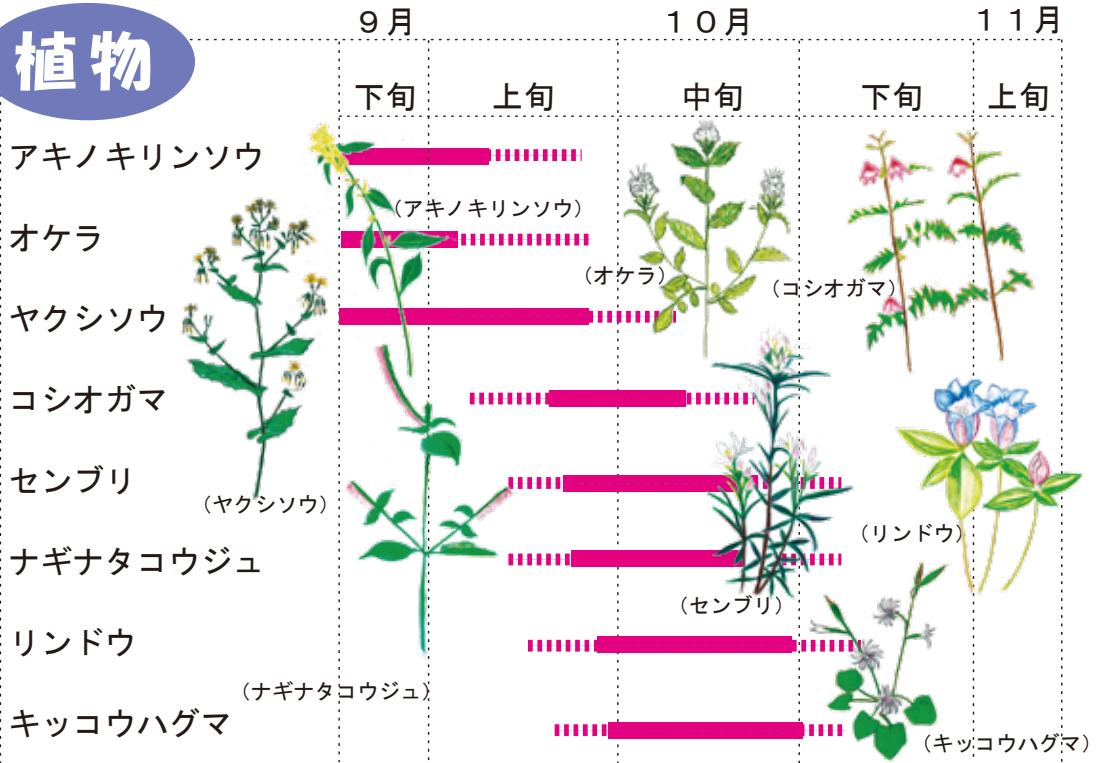
また、「失意のあまりがっかりしている様子。活気を失いしょんぼりしているさま」という意味もあるのですが、そんな様子を感じた出来事がありました。センター周辺で2種類のアシナガバチが巣を作り、活動の様子を観察できたのですが、時期は違いますが2種類ともある日突然いなくなってしまったのです。たくさんの働きバチが巣に群がっているのを見ていたので、愛着がありました。よく見るとかろうじて残っていた数匹が、がっかりした様子で不憫でした。

何故いなくなったのかわかりませんが、近くにスズメバチがいたので襲われたのかもしれませんが、自然の厳しさを実感しますが、スズメバチは悪者ではなく自然の摂理なのです。しかし、人間が起こした気候変動で、暑さに弱い生きものが影響を受け、生態系のバランスが崩れる恐れがあります。人間のせいで生物相が寂しくなることは避けなければと思います。【レンジャー:新田隆一】



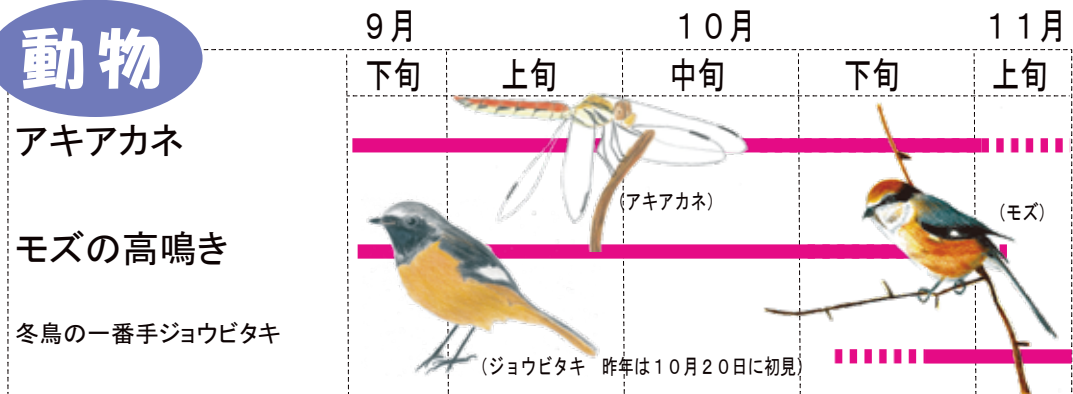
10月の生物ごよみ

植物



10月に入るとほとんどセミの鳴き声は聞こえませんが、太白山周辺には7種類のセミが生息しています。その中でいつも後半に鳴くのがツクツクボウシとチッチゼミです。特にチッチゼミは名前の通り『チッチッチ・・・・』と連続して鳴くセミで今年はずっとより2週間ほど遅く、9月に入りやっと鳴き声を聞くことが出来ました。その他、涼しくなると開花のスイッチが入るヒガンバナも10年前と比べると10日ほど遅く9月27日頃の開花になりました。これもすべて温暖化の影響なののでしょうか。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森の「あれこれ」



「子犬と花と卵と」



9月下旬の観察の森では長雨と涼しさで、すでに秋の気配です。

右の写真①、高さが10cmほどのまるで“ビビットな色彩のつくし”！傘はないけどキノコの仲間です。ツートンカラーの拡大した先端の格子模様②から“コイヌノエフデ（子犬の絵筆）”という名のかわいらしいキノコでした。



同じく傘の見あたらない③もキノコです。まるでサンゴ礁のソフトコーラルを連想してしまいます。ハナホウキタケ（花箒茸）、柔らかなピンク色を花に見立てたのでしょうか。花といえは④はハナオチバタケ（花落葉茸）の褐色タイプ。その名の通り落葉を分解するキノコです。山が枯木や落葉でいっぱいにならないのはキノコ（カビ）が分解して植物のごはんにしてくれるからとよく説明します。



分解者の役割とともに最近では植物の菌根菌としての役割も大切です。樹木と共生し森を育てます。今年も見かけたタマゴタケ（卵茸）。卵のようなツボから出るこの派手なキノコはブナ科の樹木などと共生します。

【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている

暑かった夏も終わり、過ごしやすい秋がやってきましたが、まだ時折気温が高い日を感じられます、森の片隅にはこの暑い夏を必死に生きてきた、生き物たちの痕跡が、ところどころ見えてきました。



①翅がボロボロになったクロヒカゲ ②同じくアブラゼミ ③命尽きたアブラゼミ ④昆虫糸状病原菌に感染しミイラ状態になったカミキリムシ ⑤飛ぶ力もないレリタテハ



彼らはボロボロになりながらも必死に生きて、次の世代へ種の存続を繋ぎます、そして命が尽きると土に還り、森の一部となります、森はたくさんの命が循環する場所なんだと感じました。 【レンジャー：菅井 潤】

10月のイベント & お知らせ

◆『きのこ観察会』 **10月19日(土) 10:00~11:30**
 ・ 仙台キノコ同好会の方を講師に招き、散策路で観察しながら解説を聞きます
 【対象】小学生以上（中学生以下は保護者同伴） 20名
 【持ち物】飲物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
 【申込み】10月6日(日)午前9時から電話で受付〔先着〕

◆『晩秋の蕃山を歩こう』 **11月2日(土) 9:30~15:00**
 ・ 講師の案内で秋の自然や歴史などの解説を聞きながら蕃山の森を歩きます
 【集合】茂庭台市民センター 駐車場
 【対象】18歳以上 20名
 【持ち物】昼食、飲物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
 【申込み】往復はがきで10月18日(金)必着〔抽選〕（市政だよりを参照）

◆『森のアート感さつ会「もみじの森のアート」』（市政だより未掲載）
 ・ 色づいた葉っぱで自然あそびをしながら歩き、森で芸術の秋を楽しみます
 【日時】11月9日(土)10:00~12:00
 【対象】小学3年生以上（中学生以下は保護者同伴）10名
 【持ち物】飲物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
 【申込み】10月8日(火)午前9時から電話で受付〔先着〕



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：**6日, 13日, 20日, 27日**

開催時間：**10:00~11:30, 13:30~15:00**

※4月~11月は午前と午後実施します

申し込み不要。時間までにセンター前へお集まり下さい。

10月の休館日

7日(月)、15日(火)、
 21日(月)、28日(月)
 ※月曜日が祝祭日の場合、
 翌日以降の平日が休館

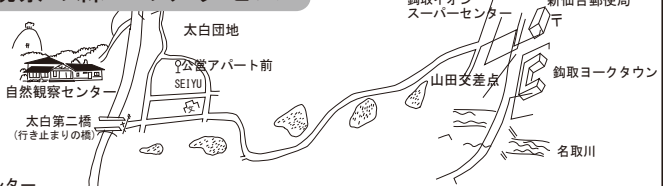
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
 (※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
 いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
 道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
 「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで！

2024年10月号

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
 〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>